

ドラフトとは上昇気流のこと。煙突の役割の一つに、燃焼のためのドラフトを作り、屋外に排気ガスを排出することが挙げられます。最適なドラフトは最適な燃焼によって生まれます。ヨソールでは12-18Pa (パスカル)が基本的なドラフトと推奨しています。

ドラフトとは上昇気流

高い温度がドラフトを促します。最適なドラフトは、製品本体と煙突の直径、そして高さが合致した時に得られます。ドラフトが強すぎると、熱も煙突に吸い込まれる場合があります。その場合はダンパー、電動式排気ファンなどを用いて調整することをお勧めします。一方、曲がりの多い煙突は、ドラフトを減少させてスムーズに排気ができないこともあります。

密接に関係するドラフトと配管

適切な高さの煙突で、多くのドラフトを得ることができます。もしドラフトが不足であれば、煙突を高くすることが解決策の一つです。煙突の直径は、本体についているフリーアウトレットの直径と同じか、それよりも大きくなければいけません。円形の煙突は、四角形の煙突よりもよりよいドラフトが得られます。そして煙突の曲がりは、ドラフトを減少させるので、極端な曲がりは避け、緩やかな配管にして下さい。

ドラフトに重要な燃焼用空気

開放型暖炉は、1時間あたり約300㎡の空気が必要です。一方、密閉式暖炉(扉のある暖炉)は1時間あたり30㎡の空気が必要です。また、同じ部屋にキッチンの換気扇が設置されていれば、より多くの空気が必要となります。なぜならこの場合、換気扇の影響で部屋が負圧になり、部屋に煙が流れ込む“逆流”が起こる場合があるからです。外気導入型の薪ストーブ本体は、外気から燃焼用空気を用いることで、この逆流を防ぐことができます。

風の影響

高い木、崖や高い建物はドラフトに影響を与えます。この問題は、煙突を高くすることで通常解決することができます。極端な状況下では電動式排気ファンを設置してドラフトを安定させる必要があります。

